

シグマ研究委員会核データ専門部会  
ファイル作りワーキンググループ担当者会合

1. 日 時 昭和46年10月7日(休) 15:30~18:20  
昭和46年10月8日(金) 9:00~12:00

2. 場 所 原研(東海) VDG29号室

3. 出席者 西村, 中嶋, 浅見, 中川, 村田, 川合, 松延

4. 議 事

ファイル作りワーキンググループの方針及び原研との関連

当ワーキンググループの方針について意見の一致を見た決定事項は次のとおりである。

1. 本格的評価を目指す。
2. 進捗度を定期的に報告する(グループ責任者から西村氏に)
3. 第0次のレビューを出す(ファイル作りグループとして重い核グループとは別個にし,  $\sigma_{e1}$ ,  $\sigma_{in}$  も含める: 納期 47年3月)
4. 昭和47年4月以降より本格的評価作業に着手し, 昭和48年3月迄に3~4核種について評価の結果を出す。(正確なタイムスケジュールは  $\sigma_f^{235}$  の進捗状況に基づいて決定したい。)
5. 本作業と原研内データ処理コードとの関係は全く独立なものとする。  
しかし, 評価済データを処理コードにかけて Version I or II を改訂すること自体に異存はない。尚, 処理コードにかける際のレーパーの問題は別途考慮すべきであり, 本作業そのものは consistent な評価済データを出す時点迄とする。
6. 共鳴部分の作業は一応独立として smooth part に合わせる必要はない。

更に検討すべき事項として、

1. “ファイル作りワーキンググループ”と云う名称が妥当か否かの問題→  
評価グループと改称する。
2. 評価作業を進めるに際して評価方法（基本方針）の内容（どのようなプロセスを經由（経験）すべきか。etc）  
があげられ、これらが討議された。